

Let's Think about Osaka's Budget!

大阪の宝

ちょっと、みんなでかんガエル？

それは大切カモ...



たしかニ!

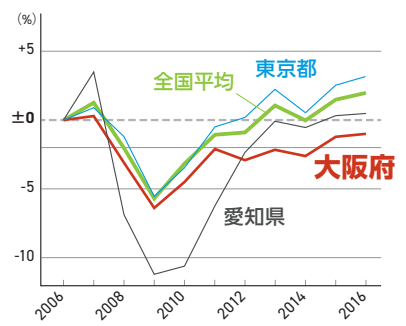


オーサカエル

~大阪の経済、いまどうなってるの?~

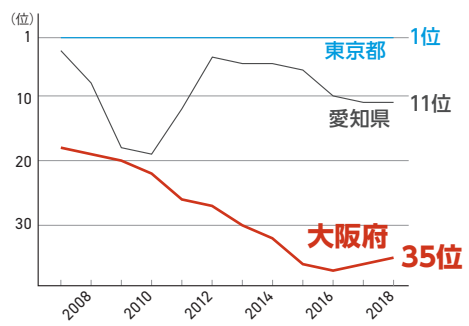
大阪の経済を他の地域と比較してみると、実は...

◎県内実質GDP推移 (2006年基準)



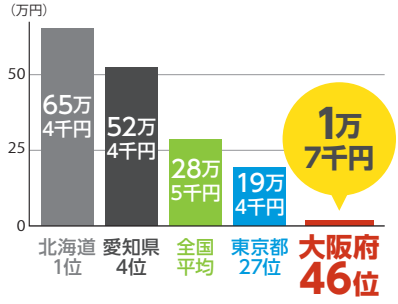
(データは内閣府「県民経済計算」より)

◎一人あたり可処分所得 全国順位推移



(データは大阪市HP「大阪の経済から見た主な分析」より)

◎1人当たり県民雇用者報酬増加額 (2011年→2019年)



(データは内閣府「県民経済計算」より)

大阪府のGDPはリーマンショック前の水準まで回復できておらず、若者の失業率は4.7%と全国平均3.4%を上回ります。2011年からの9年間で増えた報酬は平均わずか1万7千円で、なんと全国46位。可処分所得も

350万円と全国平均385万円より低く、全国35位です。実はずっと前から、東京都や愛知県などの都市圏、お隣の兵庫県などと比べても大阪の経済は低い成長率のままだったのです。

大阪は以前より成長してるんじゃないかな...?



もう少し、くわしく知りたいカモ...



じゃあ裏面も見てみるカニ!





東京や愛知など他の大都市と比べて、 大阪の経済はずっと成長できていません。

ムダをなくすとして削られてきたのは、 経済成長に必要な「余裕」だった？

近年、大阪では「ムダをなくす」事を重視した政治が行われてきました。しかし、行政から暮らしへのサポートも減ったことで、大阪の経済からは成長するための余力が失われてしまいました。その結果、大阪は10年以上にわたって他の地域より経済の成長が停滞しているのです。



¥0

高校無償化

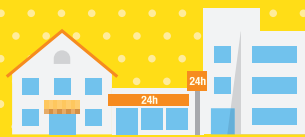
大阪の私立高校生の多くは 授業料無償化の対象外

私立高校授業料無償化は、国の交付金により全国で実施されています。しかし大阪は府による補填が少なく、他府県よりも厳しい所得制限が。しかも大阪府では私立高校への助成金が2008年に削減されており、平均授業料が全国一高い※1のです。

◎都道府県の私立高校学費助成

	授業料無償化の 所得制限※2	授業料以外の 補助制度
大阪府	590万円まで	なし
東京都	910万円まで	~20万円
愛知県	720万円まで	~25万円

※1.文部科学省HP・令和3年度調査票より



中小企業支援

中小企業を応援する予算、 10年でなんと9割減

大阪府の企業は中小企業が98.6%、つまり中小企業の活力が大阪経済の源。中小企業を助ける、ものづくり支援などの府の商工業予算※3は2007年度からの10年間で1342億円→156億円と、88%も削減されました。

◎大阪府の商工業予算

2007年度 1,342億円
2017年度 156億円



※大阪府平成19年度予算、平成29年度予算より

※3.制度融資を除く



感染症対策

保健所機能や 医療機関の逼迫で被害拡大

大阪府のコロナ死者数は8,380人、人口100万人あたり952人(東京の1.67倍)で、いずれも全国最悪です。その原因のひとつと言われているのが、「ムダをなくす」として行われてきた医療や保健行政の規模縮小です。

新型コロナの累積死者数

1位...大阪府 8,380人
2位...東京都 7,984人
(東京都の人口は大阪府の約1.6倍)

100万人あたりの死者数

1位...大阪府 952人

※数字はすべて2023年3月4日時点



本当に大阪が成長できるお金の使い方って何だろう？

コロナ禍で全国最大級のダメージを受けた大阪経済。その回復と成長に求められるのは、一部の大企業や特定の産業への援助ではなく、一人ひとりの暮らしを安定させ、府民みんなが安心して経済を回せる社会ではないでしょうか。そのために必要なお金の使い方を、もう一度考えてみましょう。

